

# ① 背景

- 自治会長のニーズ把握を全と任せしめている
- ニーズを自治会長に伝えるのが難しいのでは?
- 自治会長の空観に任せられている
- ボランティアで何をしたらいいのか住民が知らない

自治会長にニーズ把握を全と任せしめている  
 ニーズを自治会長に伝えるのが難しいのでは?  
 自治会長の空観に任せられている  
 ボランティアで何をしたらいいのか住民が知らない

# ③ 解決策

- 自治会長(自治会職員)を通じてボランティアのPR
- 社協職員もニーズ把握に出向く
- ボランティアは何かで活動したいのかを把握する
- 自治会長の空観に任せられている
- ボランティアで何をしたらいいのか住民が知らない

自治会長を通じてボランティアの内容を住民に伝えてもらう  
 社協職員もニーズ把握に出向く

# ② 課題

- ニーズが出てくるのを待っている
- 電話回線数が少ない
- 個々の意見を引き出すには
- 地区内住民同士で対応できる事もボランティアセミナーに相談

ニーズが出てくるのを待っている  
 電話回線数が少ない  
 個々の意見を引き出すには  
 地区内住民同士で対応できる事もボランティアセミナーに相談  
**個々のニーズをどうするか?**

# ④ 解決策

- 自治会長の空観に任せられている
- ボランティアで何をしたらいいのか住民が知らない
- 自治会長(自治会職員)を通じてボランティアのPR
- 社協職員もニーズ把握に出向く
- ボランティアは何かで活動したいのかを把握する

グループ / 検討事例①



# ① 背景

自治会への加入  
促進の取り組み  
～～～  
思いつく

自治会  
への加入  
自治会に  
未加入

① 自治会への加入  
促進の取り組み  
～～～

# ② 課題

自治会への加入  
促進の取り組み  
～～～

② 自治会への加入  
促進の取り組み  
～～～

③ 自治会への加入  
促進の取り組み  
～～～

2  
グループ  
170

# ③ 解決策 (その場)

① 自治会への加入  
促進の取り組み  
～～～

自治会への加入  
促進の取り組み  
～～～

② 自治会への加入  
促進の取り組み  
～～～

③ 自治会への加入  
促進の取り組み  
～～～

④ 自治会への加入  
促進の取り組み  
～～～

# ④ 解決策 (平常時)

自治会への加入  
促進の取り組み  
～～～

④ 自治会への加入  
促進の取り組み  
～～～

グループ2  
検討事例①

# ① 背景

Handwritten notes on yellow sticky notes under the 'Background' section.

# ② 課題

3

Handwritten notes on yellow sticky notes under the 'Issues' section.

# ③ 解決策 (火の場での仕事)

Handwritten notes on yellow sticky notes under the 'Emergency Decision Making' section.

# ④ 解決策 (平常時からの仕事)

Handwritten notes on yellow sticky notes under the 'Normal Time Decision Making' section.

グループ3  
検討事例①



①

住民と自治会長の被覆がズレ

自治会  
まかせ

本音の事色  
伝える  
関係では  
はかばか

自治会  
未加入者  
地域に  
関係

自治会長  
がボラセン  
のことも知らない

3日  
混雑しては  
自治会長は  
いそがしい

地域住民  
がボラセン  
を知らない

災害・福祉  
も併せて  
考えている

11回のみ  
聞きたり  
かも

個人情報  
の把握が  
おぼつかしい

地域の  
コミュニケーション

他団体  
との連携が  
出きていない  
横の  
つながり

校長町内会  
と被覆地図  
校長地帯  
校長地帯

自治会長の  
調べた時と  
住民の依頼  
したときと  
時間のズレ

自治会長  
のみ  
まかせた

自治会長は  
何を認識  
するのかわからない

ニーズ把握  
を自治会長の  
みに依頼  
する。  
自治会長  
のみの情報  
にたよって

②

和協のボラセン  
自治会長への説明  
の不足、ボラセンの  
情報不足

③

自治会  
職員と一編に  
関わっている  
モデル現場  
へ自治会長  
と一緒に  
見に行く

住民に  
ボラセンの  
ことを知らせる  
住民に  
ボラセン  
立ち上げの  
報告をする  
(周知)

関係団体  
との情報共有  
会議

地域  
民生  
行政  
自治会  
先んじて

ニーズの  
提案

④

地域住民に  
ボラセン  
センターを  
理解してもらう

支援者に  
ボラセンを  
理解してもらう

ボラセンの  
つながり

ニーズを  
おぼろげに  
想定

自治会長の  
地域住民に対する  
ボラセンについて  
の理解と連携の  
不足

日33出たこと  
を社協が  
実施

地域イベント  
の実施

関係団体  
との顔の見える  
関係づくり  
社協中心

地域で  
ボラセン  
訓練

グループ4  
検討事例①



# 事例①

5

## ① 背景

① 自治会長が  
個々の世帯の  
状況がわからない

自治会長  
すべては  
ない。

自治会長は  
言いついで  
(不明)の  
か(不明)

各町内会  
+町内会

町内会との  
は言いついで  
電話で  
不明

ニーズ把握の協  
力を自治会長に  
頼れない

## ③ 解決方法(その場)

① TELの  
住民の方  
ニーズを  
自治会長と  
連絡

依頼窓口  
女性も  
必要

自治会長  
取組と協  
力  
ニーズ把握  
に  
必要

TELが  
自治会長  
との  
連絡

被災者  
への  
自治会長  
との  
説明

電話回線  
大切

ニーズ把握  
の  
自治会長  
との  
連絡

自治会長  
の  
活動  
の  
説明

## ② 課題

② 情報が  
正しく伝わる  
方法がない

自治会長  
だけに  
頼れない

一日目の  
ボランティア  
に対して  
来てもらった  
家の人に  
おにん  
電話する

自治会長  
一人で把握し  
ていない  
地区協力を  
必要

自治会長  
だけに  
頼れない

## ④ 解決方法(平常時からできること)

④ 地域での  
情報が  
正しく伝わる  
方法  
をつくる

被災者  
への  
説明  
の  
前  
に  
知らせ

不断  
の  
コミュニケーション  
を  
強化

自治会長  
の  
活動  
の  
説明

自治会長  
の  
活動  
の  
説明

自治会長  
の  
活動  
の  
説明

地域に  
防災士を  
増やし  
防災力を  
高める

自治会長  
の  
活動  
の  
説明

# グループ5 検討事例①



①

# 背景

自治会と、22  
本へ入居後  
1年ほど...

自治会長の家  
も被害あり  
見守り活動  
が実施...

自治会長  
はまがた

自治会長の家  
も被害あり  
見守り活動  
が実施...

自治会長の家  
も被害あり  
見守り活動  
が実施...

被災住民の  
見守り活動  
(自治会員)

②

# 調査内容

# 6

## 事例①

現場を  
見てみたい  
(水防職員)  
ニーズが地域広域  
に広がる

水防職員の  
現場を見たい

③

# 現場

現場へ  
行く

ボラセンの電話  
があった自治会  
ニーズを伝える

自治会長へ見守り  
活動をして  
協力を促すこと  
を伝える

民生委員等  
一帯に  
一歩かかわる

④

# 現場

自治会の役員や  
村長と自治会  
との連携

日頃の  
住民との  
コミュニケーション  
が必要

災害時の地域  
のつながり

地域のネットワーク  
を構築する

# グループ6 検討事例①

①

# 背景

自治会長と町長との関係  
自治会長の役割

自治会長の役割  
自治会長の役割

現状の把握  
自治会長の役割

時間の経過  
自治会長の役割

自治会長が  
住民と町長との  
コミュニケーション  
を促進している

②

# 事例の課題

検討事項 ① 7

自治会長の役割  
自治会長の役割

自治会長の役割  
自治会長の役割

自治会長の役割  
自治会長の役割

自治会長の役割  
自治会長の役割

自治会長の役割  
自治会長の役割

③

# その場

自治会長には  
電話受付も  
あると周知  
する

自治会長の  
役割の強化

何回か  
見回りしてもらう

ニーズを拾う  
の官製の手帳  
に記入して  
訴えやすい  
場を作る

④

# 平時

自治会長の  
役割

自治会長の  
役割

自治会長の  
役割

ボランティア  
センターの  
周知

住民にボランティア  
センターの存在を  
知ってもらう。  
近隣住民との  
コミュニケーション  
を促進する。

# グループワーク 検討事例①



# ① 背景

自治会費の  
滞りや  
滞りや  
滞りや  
滞りや  
滞りや

自治会費の  
滞りや  
滞りや  
滞りや  
滞りや  
滞りや

自治会費の  
滞りや  
滞りや  
滞りや  
滞りや  
滞りや

自治会費の  
滞りや  
滞りや  
滞りや  
滞りや  
滞りや

自治会費の  
滞りや  
滞りや  
滞りや  
滞りや  
滞りや

自治会費の  
滞りや  
滞りや  
滞りや  
滞りや  
滞りや

# ② 課題

自治会費の  
滞りや  
滞りや  
滞りや  
滞りや  
滞りや

自治会費の  
滞りや  
滞りや  
滞りや  
滞りや  
滞りや

自治会費の  
滞りや  
滞りや  
滞りや  
滞りや  
滞りや

自治会費の  
滞りや  
滞りや  
滞りや  
滞りや  
滞りや

自治会費の  
滞りや  
滞りや  
滞りや  
滞りや  
滞りや

# ③ 解決策 (その場)

自治会費の  
滞りや  
滞りや  
滞りや  
滞りや  
滞りや

自治会費の  
滞りや  
滞りや  
滞りや  
滞りや  
滞りや

自治会費の  
滞りや  
滞りや  
滞りや  
滞りや  
滞りや

自治会費の  
滞りや  
滞りや  
滞りや  
滞りや  
滞りや

自治会費の  
滞りや  
滞りや  
滞りや  
滞りや  
滞りや

# ④ 解決策 (平常時)

自治会費の  
滞りや  
滞りや  
滞りや  
滞りや  
滞りや

自治会費の  
滞りや  
滞りや  
滞りや  
滞りや  
滞りや

自治会費の  
滞りや  
滞りや  
滞りや  
滞りや  
滞りや

自治会費の  
滞りや  
滞りや  
滞りや  
滞りや  
滞りや

自治会費の  
滞りや  
滞りや  
滞りや  
滞りや  
滞りや

自治会費の  
滞りや  
滞りや  
滞りや  
滞りや  
滞りや

グループ8  
検討事例①



①

北月景

被災状況の把握を  
自治会長のみで依頼。  
後は電話対応のみ。  
自治会長の報告と  
地本住民の声に温度差が  
出てきた。



③

解決策

ボランティア必要？不要？  
まずはニーズ把握を行政・  
社協・地域(自地会)で  
一緒に行う。  
出てきたニーズに地域と  
ボランティアが一緒に対応できる  
ようにする。  
被災状況の全体を把握  
できるようにする。  
(役割分担をやることで分業  
できるようにする)

②

課題

行政・社協がニーズ把握を自ら  
しようとしていない。

- 現地確認を行っていない
- 複数の目で確認できていない

④

平時の解決

自治会と社協が協働で地域・  
見守り活動を行う。  
・社協にできること、行政にできること  
地域のかま目頃からわかるように(見えるように)  
・安心安全マップ(サロ)のようなものを  
地域と社協が協働で作る。

グループ9  
検討事例①



# G10 事例1

①

① 被災者の生活  
再建支援法  
（7/17施行  
など）

② 被災者  
への支援

③ 被災者の  
生活再建  
支援法  
（7/17施行  
など）

④ 被災者の  
生活再建  
支援法  
（7/17施行  
など）

自治会に  
ついての  
取り組み

②

① 被災者の  
生活再建  
支援法  
（7/17施行  
など）

② 被災者の  
生活再建  
支援法  
（7/17施行  
など）

③ 被災者の  
生活再建  
支援法  
（7/17施行  
など）

④ 被災者の  
生活再建  
支援法  
（7/17施行  
など）

被災者の  
生活再建  
支援法  
（7/17施行  
など）

③

① 被災者の  
生活再建  
支援法  
（7/17施行  
など）

② 被災者の  
生活再建  
支援法  
（7/17施行  
など）

④

① 被災者の  
生活再建  
支援法  
（7/17施行  
など）

② 被災者の  
生活再建  
支援法  
（7/17施行  
など）

# グループ10 検討事例①



# ① 背景

① 協会  
他に頼る？  
協会に頼る？

② 協会に  
入る？

③ 協会に  
入る？

④ 協会に  
入る？

⑤ 協会に  
入る？

⑥ 協会に  
入る？

⑦ 協会に  
入る？

⑧ 協会に  
入る？

⑨ 協会に  
入る？

⑩ 協会に  
入る？

# ② 課題

① 協会  
T.H.に  
T.O.に

② 協会  
T.H.に  
T.O.に

③ 協会  
T.H.に  
T.O.に

④ 協会  
T.H.に  
T.O.に

⑤ 協会  
T.H.に  
T.O.に

⑥ 協会  
T.H.に  
T.O.に

⑦ 協会  
T.H.に  
T.O.に

⑧ 協会  
T.H.に  
T.O.に

⑨ 協会  
T.H.に  
T.O.に

⑩ 協会  
T.H.に  
T.O.に

# ③ 解決策(この場)

① 協会  
T.H.に  
T.O.に

② 協会  
T.H.に  
T.O.に

③ 協会  
T.H.に  
T.O.に

④ 協会  
T.H.に  
T.O.に

⑤ 協会  
T.H.に  
T.O.に

⑥ 協会  
T.H.に  
T.O.に

⑦ 協会  
T.H.に  
T.O.に

⑧ 協会  
T.H.に  
T.O.に

⑨ 協会  
T.H.に  
T.O.に

⑩ 協会  
T.H.に  
T.O.に

# ④ 解決策(平常)

① 協会  
T.H.に  
T.O.に

② 協会  
T.H.に  
T.O.に

③ 協会  
T.H.に  
T.O.に

④ 協会  
T.H.に  
T.O.に

⑤ 協会  
T.H.に  
T.O.に

⑥ 協会  
T.H.に  
T.O.に

⑦ 協会  
T.H.に  
T.O.に

⑧ 協会  
T.H.に  
T.O.に

⑨ 協会  
T.H.に  
T.O.に

⑩ 協会  
T.H.に  
T.O.に

# グループ11 検討事例①



①

自治会長が全体を見たのか  
社協職員が電話のみの  
対応だった。

③

地元社協職員が現場に  
出向いて直接ニーズを聞き  
取る。自治会長も一緒に。

12

②

社協の役割や仕事等が  
住民に周知不足

④

~~地元~~社協職員が地区の  
自治会や住民と関わる機会を  
作っていく  
ボランティアセンターを住民に  
知ってもらう様に働きかける

グループ12  
検討事例①



①

- ・自治会長と住民の認識のズレ
- ・普段からの住民状況の把握不足
- ・災害ボランティアセンターの役割等の理解不足。(住民や地域に浸透しない)
- ・自治会長に役割をまかせて、自分達が動いていなかった。

②

- 139
- 事例①
- ・普段から地域住民との交流を深める必要がある。ているか?
  - ・地域住民の生活状況を知る必要がある。
  - ・災害の知識や備えが日頃から出来ていない。
  - ・自治会長ひとりの意見で過ごしていた。

③

- ・状況把握も地元の社協職員、民生委員地域の役員等と一緒に地域を回る。
- ・災害ボランティアの存在を知らせる(広報活動)

④

- ・見守りマップの作成(独居、障害者、高齢者)
- ・災害訓練等で危険地域、避難所の把握
- ・社協職員自身がボランティアセンター立ち上げ、訓練や知識の習得。
- ・日頃からの人間関係を良好にし、地域力をアップさせておく。

ブルーフォード  
検討事例①



# ① 背景

課題の背景  
現状、課題  
の状況

課題の背景  
現状、課題  
の状況

課題の背景  
現状、課題  
の状況

# ② 課題

課題の背景  
現状、課題  
の状況

課題の背景  
現状、課題  
の状況

課題の背景  
現状、課題  
の状況

課題の背景  
現状、課題  
の状況

# ③ 解決策

課題の背景  
現状、課題  
の状況

課題の背景  
現状、課題  
の状況

課題の背景  
現状、課題  
の状況

# ④ 解決策(平常時)

課題の背景  
現状、課題  
の状況

課題の背景  
現状、課題  
の状況

課題の背景  
現状、課題  
の状況



# 検討①

## ①

他人任せ

① 自治体  
② 民間  
③ 地域住民

① 自治体  
② 民間  
③ 地域住民  
④ 地域住民

地域人から

一人での確認

① 自治体  
② 民間  
③ 地域住民

① 自治体  
② 民間  
③ 地域住民

① 自治体  
② 民間  
③ 地域住民

時期

① 自治体  
② 民間  
③ 地域住民

# 15

## ②

ボランティアセンター?

① 自治体  
② 民間  
③ 地域住民

① 自治体  
② 民間  
③ 地域住民

① 自治体  
② 民間  
③ 地域住民

① 自治体  
② 民間  
③ 地域住民

地域課題

① 自治体  
② 民間  
③ 地域住民

7031812 -

① 自治体  
② 民間  
③ 地域住民

手段

① 自治体  
② 民間  
③ 地域住民

① 自治体  
② 民間  
③ 地域住民

## ③

現地確認

① 自治体  
② 民間  
③ 地域住民

① 自治体  
② 民間  
③ 地域住民

① 自治体  
② 民間  
③ 地域住民

① 自治体  
② 民間  
③ 地域住民

① 自治体  
② 民間  
③ 地域住民

① 自治体  
② 民間  
③ 地域住民

① 自治体  
② 民間  
③ 地域住民

① 自治体  
② 民間  
③ 地域住民

ニーズ対応?

① 自治体  
② 民間  
③ 地域住民

## ④

コミュニケーション

① 自治体  
② 民間  
③ 地域住民

① 自治体  
② 民間  
③ 地域住民

① 自治体  
② 民間  
③ 地域住民

ボランティアセンターの理解

① 自治体  
② 民間  
③ 地域住民

① 自治体  
② 民間  
③ 地域住民

① 自治体  
② 民間  
③ 地域住民

① 自治体  
② 民間  
③ 地域住民

# グループ15 検討事例①



# ① 背景 事例 1

① 背景  
 ② 現状  
 ③ 課題  
 ④ 解決策

# ② 課題

16

① 現状  
 ② 課題  
 ③ 解決策

# ③ 解決策

① 解決策  
 ② 解決策  
 ③ 解決策  
 ④ 解決策

# ④ 解決策

① 解決策  
 ② 解決策  
 ③ 解決策  
 ④ 解決策

グループ16  
検討事例①



- ① 自治会長の現況とニーズの確認不足。
- 自治会長自身も被災している為、正確な状況把握ができていない可能性が有る。
- 直後の状況が変ってきている。

- ② 自治会長だけでは、住民のニーズを全て把握する事ができない。
- 住民からの意見(ニーズ)をどのように、自治会長に伝えるか。
- ボランティアセンターが開設されている情報の提供不足

- ③ 社協職員が被災地区を訪問して被災状況を確認する。
- 再度ニーズの聞き取りを自治会長と社協職員とで行う。

- ④ 社協と自治会との連携をはかり、災害時のボランティア活動や、対応について、地域住民との勉強会を行う。
- 様々なニーズを早急、適格に判断できるように、災害時の管理も行う場や流れを明確に決めておく。
- 地域で相談・話し合える体制作り。